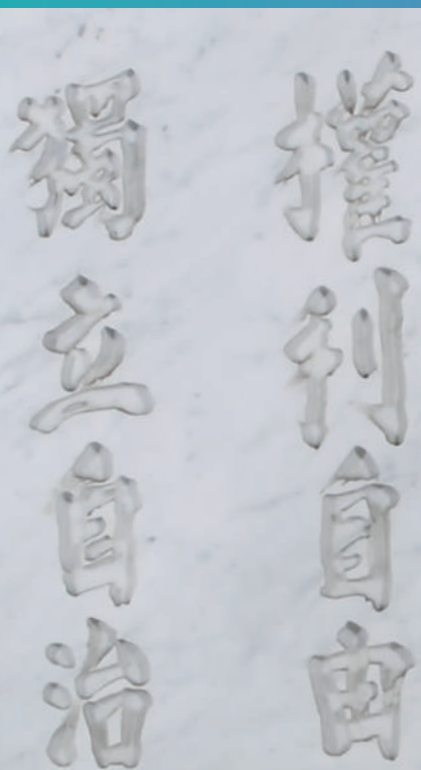


「今」が未来をつくる

この小冊子「今が未来をつくる」は、学部学生ご父母のみなさまを対象として、明治大学及び父母会の情報をwebサイトとの連動性を高め提供するものです。



校歌誕生 100年の取り組みを 応援しています！

2020年度 明治大学連合父母会 顧問
(2018年度 明治大学連合父母会長)
今村 健

<https://www.meiji-parents.jp>

明治大学父母会



明治大学父母会

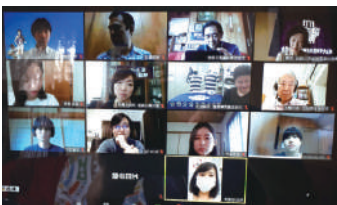
第1回オンライン(Zoom)学生交流会 ーチームグクル(肝心)をつないで新たな取組へー

明治大学沖縄県父母会主催
沖縄県父母会長 安里 恒男(あさと・つねお)



本年11月に開催予定の東京都内での「学生交流会」は、新型コロナウイルスの発生状況から開催が厳しいため、初めての試みとして、「第1回オンライン(Zoom)学生交流会」を開催しました。

新1年生の大学生活に向けて先輩が情報の提供や相談にのり、新1年生を激励し相互の交流を図



ること、学生同士がオンラインで繋がることを目標に7月18日に実施しました。

14時～15時20分の間に、学生同士の情報交換やアドバイス等、あっという間の有意義な時間でした。自分なりに、今の心境を伝え合い、参考になる意見に聞き入る場面もありました。先輩からは後輩達へのアドバイスや次回のオンライン学生交流会にむけ、具体的な提案もなされました。以下に、参加者の感想も掲載します。

沖縄の先人から受け継がれているチームグクル(肝心)「助け合いの精神」をつないで、学生のために何ができるのかを今後も父母会役員が一丸となり、模索し取り組んで参ります。

森松 愛実
(政治経済学部・1年)

一人暮らしを始めてから、約3ヶ月が経ちましたが、まだまだ不安なことが沢山あります。しかし、沖縄県出身の先輩方との交流会を通して、ためになる情報を聞くことができ、精神的に安心する事が出来たのでとても良かったです。

村田 沙蘭
(政治経済学部・1年)

先日はオンライン学生交流会に参加しました。同じ県出身の先輩方に私自身が疑問に思っていることを質問することができ、とてもいい経験となりました。コロナウイルスの影響で先輩の知り合いがいらない中、先輩方の直接の声を聞くことができたことは、非常に心強かったです。貴重な時間をありがとうございました。

知念 香歩
(政治経済学部・2年)

コロナの影響で減りに学友とも会えないなか、同じ県出身の明大生と直接言葉を交わす形で交流できてとても良かったです。このオンライン交流会のおかげで他の学部、学年の方々と幅広く交流を持ち、就活の話なども聞けました。ありがとうございました。

我那覇 莉央
(国際日本学部・2年)

オンライン授業で他の学生との交流が少ない今、他のキャンパスに通う学生や先輩と交流ができ意見を交換する他、就活や学生生活におけるアドバイスなど貴重な話が聞けて、良い経験ができたと思います。またこのような交流会があれば参加したいです。

安里 恒作
(文学部・2年)

今回のオンライン学生交流会では、1年生から4年生まで幅広い学生と交流ができました。その中で先輩からのアドバイス、後輩からの質問といった交流があり私自身とても刺激的でした。同じ県出身の学生が悩みを相談できる場を設けて下さりありがとうございました。

大木 燦太
(文学部・3年)

ただでさえ心細い大学生活の始まりにコロナが重なり、後輩達の不安は大変だと感じ、そんな中でも前向きな姿勢に凄く感心しました。早く普段の生活を取り戻し、有意義な大学生活が訪れることを願っています。拙い助言でしたが、少しでも力になれば嬉しいです！

萩田 絵理奈
(政治経済学部・4年)

途中参加での私の印象ではありますが、思っていたより困窮している学生がいなくて安心しました。直接会えなくても、こういう形で交流の場を設けていただけてありがたかったです。コロナが早くおさまり大学に通える日が一日も早く来ることを願っています。

TOPIX

2020年度秋学期オンライン授業 実施に伴う支援策について

本学は、別途ご案内のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に鑑み、学生の皆さんの健康と安全の確保を優先するため、秋学期の授業についてオンライン授業を中心としつつ、一部の対面授業を再開することとしました。

オンライン授業については、春学期中に実施しました学生アンケートで明らかになった課題を改善し、授業の質を一層高めることを目指しています。したがって、春学期よりも通信量が増すことが想定され、また印刷環境もご自身で整えて頂く必要があります。

本学はこれまでも、通信機器の貸与、経済困窮者への経済的支援、印刷環境・通信環境支援等さまざまな支援を行ってきましたが、新たな支援策として、皆さんご自身で通信・印刷環境等の学修環境を整え、安心してオンライン授業を受講できるよう、以下の支援を行うことを決定しました。

支給方法は、Oh-o!Meiji システムを通じて学生にお知らせしますので、ご確認ください。

対象者

秋学期授業を受講する全学生
(本学に在籍する正規学生)

※ただし、秋学期に休学・除籍した学生は対象になりません。

助成金額

1名につき4万円支給

支給方法

Oh-o!Meiji システムを通じて学生の皆さんにお知らせいたします。

明治大学ホームページより
「秋学期の授業について」はコチラから



INDEX

- 4 商学部における「ニューノーマル」下での授業確立に向けた取り組み
商学部長 出見世信之
- 6 今・このユビキタス
文学部長 合田正人
- 8 コンセプトムービー
10学部10色のコンセプトムービーが完成
- 11 留学生奮闘記
昨今の非常識を未来の常識へ
政治経済学部 4年 田 勝圭さん
- 12 明治大学図書館
中央図書館(駿河台)・和泉図書館(和泉)
生田図書館(生田)・中野図書館(中野)
- 14 就職支援の現場から
2022卒 就職支援
就職キャリア支援事務長 小林 宣子
- 16 われらに燃ゆる希望あり！
連合父母会は校歌プロジェクトを支援します
連合父母会顧問 今村 健
- 18 明治大学校歌 誕生物語(2)
飯澤 文夫 明治大学史資料センター研究調査員

商学部における「ニューノーマル」下での授業確立に向けた取り組み

商学部長 出見世信之（でみせ・のぶゆき）

「経営哲学」「企業と倫理」担当。研究テーマは、企業倫理、コーポレート・ガバナンスの視点から日本企業の卓越性を探究。博士（商学）。



社会から「ニューノーマル」への対応を求めらる中、商学部の場合、春学期は、7月16日を除き、全面的にオンライン授業になりました。ゼミなどで対面授業を行えるとの大学方針が示された後、商学部は、担当教員が対面授業を希望するか、履修している多くの学生が対面授業を希望しているかを確認する手続きを取りました。そして、対面授業開始の2週間前には、実施の告知をすることとし、7月16日から2週間、対面授業を行うことにしました。急遽、東京に移動することになる学生がいるかもしれないと考えたからです。しかしながら、7月15日に大学から17日以降の対面授業の中止が発表されたため、実際に対面授業を実施できたのは、5つのゼミだけになりました。

商学部は、4月以来、対面授業実施に関して行ったように、慎重に、丁寧に対応しています。大学でのオンライン授業は、学生にとっても、教員にとっても、初めてだからです。そこで、学部長として、商学部生に対しても、授業担当教員に対しても、ほぼ毎月のように、Oh-o! Meiji という配信機能を備えた明治大学の学習支援システムを通じて、メッセージを送りました。学生の皆さんには、「学年暦変更に伴うお願い」「オンライン授業実施に当たって」「オンライン授業継続に当たって」「対面での授業の開始に当たって」「学期末の課題提出に当たって」「感染予防対策へのお願い」「夏季休業に当たって」と題して、メッセージを送りました。一方、授業を担当される先生方には、「オ

ンライン授業について」「春学期 S2 期間におけるオンライン授業の継続実施に当たって」「学期末の課題の提出についてのお願い」「2020 年度春学期の成績に関する学生からの照会について」「2020 年度秋学期の授業運営について」「感染予防対策へのご協力をお願い」と題して、主に授業運営に関するお願いをしました。

対面授業であれば、教員は教室で学生の反応を直接的に、即座に確認できますが、オンライン授業ではできません。パソコンや Wi-Fi ルーターなどの機器及び通信のトラブルもあります。学生の皆さんにも、先生方にも、そうしたことを前提にして、心と時間に余裕を持ってオンライン授業に臨むことをお願いしましたが、実際には、「Oh-o! Meiji で課題を提出できない」や、「Zoom を使った授業に通信環境の悪化で参加できない」などの声も学生の皆さんから寄せられました。中には、「課題が多すぎる」「課題へのフィードバックがない」などの意見もありました。一方、先生方からは、「学生が授業内容をきちんと理解しているかわからない」、「課題で不正を行っているのではないか」との声もありました。これらは、授業方式の違いから生じたもので、今後、是正できると考えています。

オンライン授業であれ、対面授業であれ、大学で2単位の授業科目で単位を取得するためには、事前学習と事後学習が求められます。100分の授業を受けただけでは、単位は認められないのです。こうした単位制に対する理解がないと、課題が多

いという不満につながります。100分の授業を週10科目履修したとすると、授業を受けるだけで1,000分、約16.6時間で、その倍の約33時間の事前学習と事後学習が必要です。現在は、週40時間労働なので、御父母の皆様から見ると、大学は課題が多いと思われることでしょう。教員もこうした学生の状況を理解していないと、課題の質が悪いか、似たような回答がある、と思うことになります。商学部では、秋学期に向けて、課題を作成する際、学生に対して課題の結果をどのようにフィードバックするかを想定し、課題の提出により学生の学習状況を把握できるようにすることを先生方をお願いしました。

今年は、就職活動もオンラインでも行われ、多くの学生がオンライン説明会やリモート面接に参加しています。商学部の産学連携の授業である「フューチャースキル講座」や「特別テーマ実践科目」なども、すべてオンラインで行いました。Zoom などのミーティングアプリを利用しながら、グループワークを行ったり、成果報告の発表を行ったりしました。私のゼミでのことになりますが、4年生は、2年生に比べて、より多くのミーティングアプリに関する知識を有し、より上手に使いこなします。オンラインについても、経験を積むことで、その運用能力を高めることができます。商学部で毎年、行っているプレゼンテーション大会も、2020 年度はオンラインで実施する予定です。また、これまで紙に印刷して提出させていた奨学論文につ



いては、オンラインで投稿する形に変更しました。手続きに必要なだった押印も廃止しました。

実は、4月、商学部の1年生の皆さんに和泉キャンパスに来ていただき、学生証をお渡しすることを企画しておりましたが、大学の入構制限が強化されたため、実施することができませんでした。現在、9月に、少し短い時間にはなりますが、1年生のクラス別ガイダンスを和泉キャンパスで実施することを企画しています。参加は、もちろん強制ではありません。参加される1年生の皆さんには、「ニューノーマル」の下、3密を避け、マスクを着用して、手洗いを励行し、指示に従って行動することなどを求めることになりますが、クラスの仲間と直接交流できる機会を設けたいと思います。また、秋学期は、最低1科目の授業を対面で受講できるように準備をしています。

商学部長として、6回目の地区父母会への参加を楽しみにしておりましたが、今年は、それが叶いませんでした。その代わり、こうした形で御父母の皆様へ商学部の現在の対応状況を報告させていただきました。引き続き、「ニューノーマル」の下で、御子息様、御息女様が安心して、商学部の授業を受けられるように取り組んで参りますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

<https://www.meiji.ac.jp/shogaku/>



今・このユビキタス

文学部長 合田正人（ごうだ・まさと）

「哲学演習」「文学と哲学」など担当。19-20世紀フランス思想を中心に、また、近代ユダヤ思想の展開をも踏まえて、西洋思想史の研究を進めている。



明治大学連合父母会の皆様、文学部長の合田正人でございます。Covid-19ウィルスによる感染症がなかなか終息せず、加えて、猛暑の日々が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。例年ですと、海外支部の役員の方々も含めて、各支部の役員の皆さまと駿河台で、あるいはまた、地方支部の所在地で直かにお目にかかり、学生たちの学習と生活を守り向上させることを目指して、親しく交流させて頂くのですが、誠に残念ながら、今年度はそれもかなわず、皆様にご挨拶申し上げるのが大変遅くなりましたこと、心よりお詫び申し上げます。

2020年度はCovid-19ウィルスの感染拡大のため、入学式は中止となり、ガイダンス、授業もすべてオンラインでの実施となりました。留学や在外研修もほとんど断念せざるをえませんでした。学生たちの健康という点からしてやむをえない措置であったとはいえ、新入生のみならずすべての学生たちの大学生活に大きな影響が及ぼされたことは言うまでもありません。自宅にて待機状態にあるにせよ、また、東京でひとり暮らしを続けているにせよ、この大きな変化に対応するのはさぞ大変でしょうし、その彼ら、彼女らを思うご父母の皆様の御心労いかばかりかと拝察いたします。

3月末でしたか、息子を上京させアパートを借りる契約をするかどうか悩んでいる、これは自分ひとりではなく多くの父母の悩みであることを

理解してもらいたい、とのお電話をあるお父様から頂戴したとき、私自身、今から45年前、四国の香川県から大学入学時に上京した者として、今回の事態がどれほど大変な作用を及ぼすものなのか、それに対応する私たち教職員の責任の重さを思い、眩暈のごときを覚えました。

まだまだ対応が不十分だとのお叱りを覚悟のうえで、その後の文学部の対応をご報告させていただきますと、一方では、オンライン授業の質向上のため、300名を超える教員たちに向けてZoom講習会を開催し、学生有志による支援体制を組織し、他方では、アンケート調査を通じて、大学による支援後もオンライン授業の受信環境が整っていない文学部の学生たちを把握し、約50台の受信機器を貸与いたしました。更に、オンライン授業に関する諸問題について、学生たちにはアンケート調査を行い、また、教員による懇談会をも開催して、できる限り学生たちの要望に応えるべく努めて参りました。

7月に入り、大学の活動制限レベルがレベル3からレベル2になりましたからは、大学が許容した範囲内で、対面形式の授業、学外実習などを実現するべく綿密な計画を立てましたが、これまた残念ながら感染状況拡大のため、ほとんどの企画は実施不能となりました。加えて、秋学期からもオンライン授業を主とすることが決定されました。この点につきましては、文学部のみならず他の諸学部でも多くのご意見、ご要望が寄せられていま

すことはもちろん承知いたしております。

ただ私は、今回の感染症拡大は、世界、日本社会、そして日本の大学がすでに懐に抱え込み、解決ないし改善の方途を探らねばならなくなっていた諸問題を先鋭化してくれたのではないかと考えています。そして、これらの問題のひとつがまさに、ウェブによる国内外への授業コンテンツの発信と受信だったのではないのでしょうか。校舎に、教室に学生たちが集うことが様々な意味で重要であることを否定しているのではまったくありません。それと同時に、すでに明治大学が「ユビキタス」(遍在)と命名したネットワークによって、見えない大学を国内外に展開し、生涯教育のヴィジョンをも強く打ち出しつつ、「つねに現在進行形であるような生きたアルヒーフ(文書館)」としての新たな大学を創出しなければならない、と思うのです。そうすることで、学生たち自身のみならず学びの様式を作り出していくことも可能になるはずです。

秋学期開始直前には、4月に実現できなかった新入生ガイダンスを、対面形式とオンラインの双方で実施したいと考えております。また、海外、遠方に住む有名教授、作家、芸術家による講義、講演のウェブによる配信(大学外にも開いていく)、文学部教員有志による「日本学」(Meiji Japanese Studies)の授業コンテンツ作成とその内外への配信(例えば海外の大学の日本語科、日本研究科の学生へ向けて)、それを通じての新たな形式で



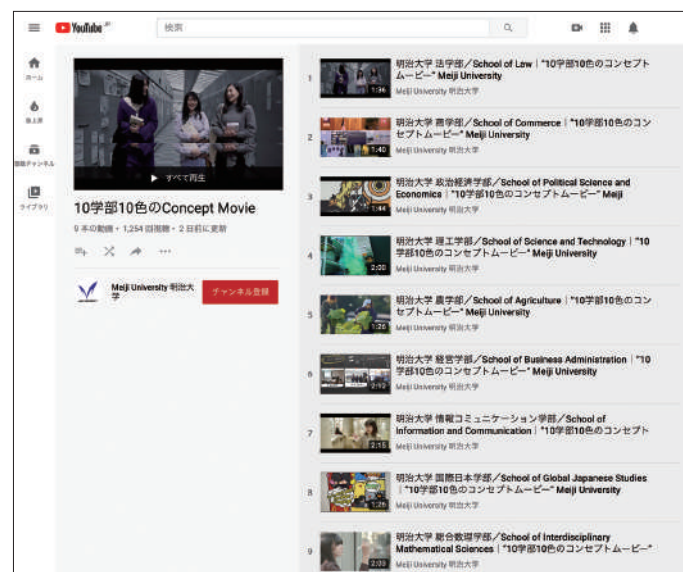
の学習と国際交流などをぜひ実現していきたいと考えております。

私も、学生諸君の健康に最大限留意し、彼ら、彼女らをお預かりした者の責任を心身の全体に刻みつつ、また、状況を冷静に分析しながら、そのなかで、できる限り高度で有効な教育活動を行うとの決意のもと、春学期に続いて、秋学期も全力でそれを実践いたす所存でございます。ただ、どの点を取りましても、ご父母の皆様のご理解とご協力なしに実現できるものはまったくございません。ご鞭撻のほど、助言何卒宜しくお願い申し上げます。



<https://www.meiji.ac.jp/bungaku/>

10学部10色のコンセプトムービーが完成



明治大学が持つ教育・研究力を
動画イメージで伝えることを
目的とした学部毎の動画が完成。
10学部それぞれの特徴や魅力が
90秒程度のショートムービーで
紹介されています。



コンセプトムービー

政治経済学部

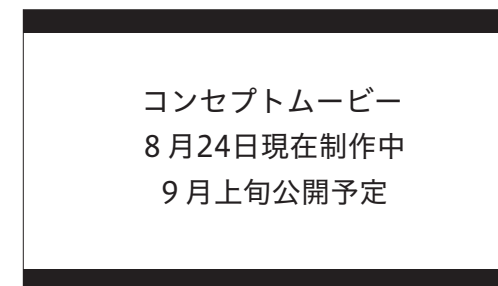


コンセプト
ムービー



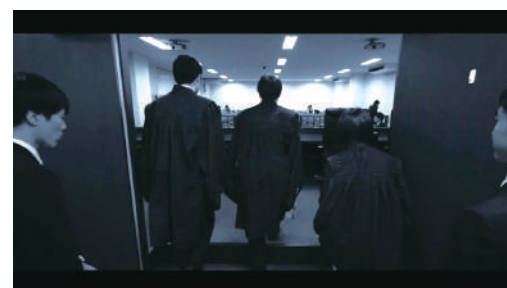
政治経済学部 HP

文学部



文学部 HP

法学部

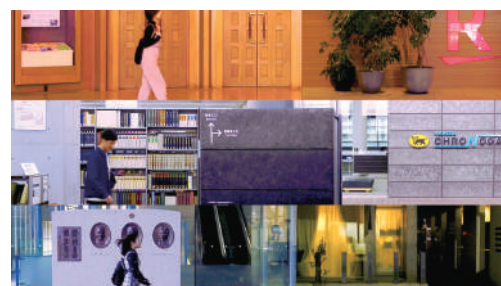


コンセプト
ムービー



法学部 HP

商学部

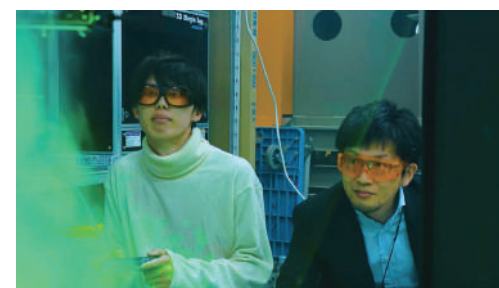


コンセプト
ムービー



商学部 HP

理工学部



コンセプト
ムービー



理工学部 HP

農学部

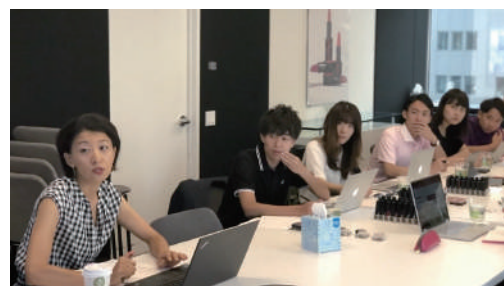


コンセプト
ムービー



農学部 HP

経営学部



コンセプト
ムービー



経営学部 HP

国際日本学部



コンセプト
ムービー



国際日本学部 HP

情報コミュニケーション学部

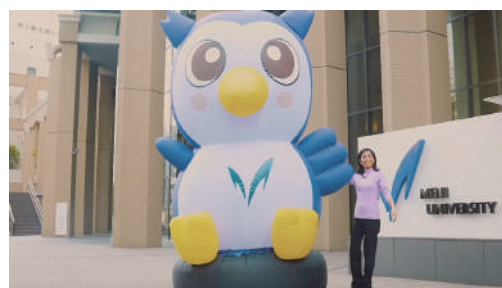
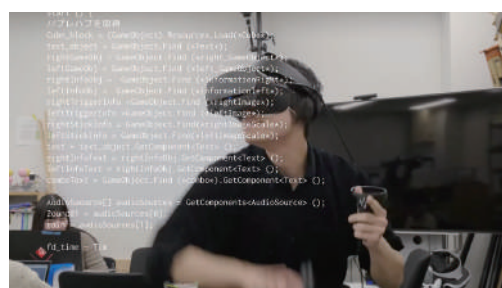


コンセプト
ムービー



情報コミュニケーション
学部 HP

総合数理学部



コンセプト
ムービー



総合数理学部 HP

留学生奮闘記

昨今の非常識を未来の常識へ

政治経済学部 4年

田 勝圭 (ジョン・スングユ) さん (韓国)



14世紀、中世ヨーロッパ世界を強打したペスト菌以来、現れたコロナウイルスは21世紀の現代に甚大な影響を与えています。他のウイルスに比べて、圧倒的な感染率、再発率に加え、「PCR検査」を用いても、確実に感染されているかどうかを巡る判別ミスが生じる事例が多発しました。街を歩いても閉店、休業している店が増え、繁華街や駅前には以前より活気が無くなったように見受けられます。未だワクチンが開発されず、更なる暗雲が立ち込んでいるのが現状でしょう。今の大学生は、大学に行けなくてオンラインで授業を受けています。経済的に苦しみながら、就職活動を行っている大学生も溢れかえっています。海外との往来もできず、卒業式中止、入学式中止。つまり、留学生を含むほとんどの大学生は、先行きが不安な毎日を過ごしています。

私も4年間の集大成を成し遂げるべく、最後の1年の計画を立てておりました。ところが、パンデミック宣言以降、大学最後の1年の幕開けが予想だにしないものとなりました。しかし、今後何年間はコロナウイルスとの共生に取り組まなければならないでしょう。こういった中、個人的に注目したのは、ITの寄り添いによる「世界中のDX(社会のデジタル化)」でした。これまでできなかった、或いは、非常識だと思われた「オンライン授業・留学・就職活動」などが一般的なフローになりつつあります。母国である韓国はもちろん、日本国内も例外ではありませんでした。中でも明治大学は、2020年度か

ら新たに就任された大六野学長を中心とし、「明大生に対する経済的支援」を加味した「オンライン授業や留学プログラム導入」に拍車をかけています。

春学期全ての授業をオンラインで受けながら、「オンラインサマー留学」を経験し、次の2点のことを考えました。1点目は、「新たな可能性」でした。既に我々は、この半年間、「オンラインにてできる」という結果を見出したからです。コロナに終焉を告げる時期が到来しても、「一部のオンラインプログラム」を残すことは不可欠です。時間や金銭の問題で様々なグローバルプログラムに行けない学生が参加できること、かつ、「補講や特別セミナー」などをオンラインにて実施することもでき、授業の量と質の向上にもなり得ると見据えています。2点目は、「限界点と今後の課題」です。実際に触れ合えず、全ての授業をオンラインで実施すると、やはり限界が見て取れました。教授と学生同士でのコミュニケーション手段の限界、試験や評価に関わる問題など。こういう課題点に対しては、学生の意見を積極的に受け入れて下さると幸いです。



「ペンシルベニア大」のオンラインサマー留学

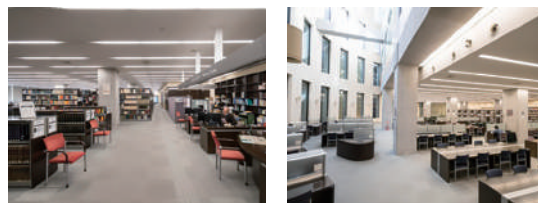


図書館は、6月1日(月)より、
時間短縮・利用者およびサービスを限定して開館しています。
利用に関する情報はホームページでご確認ください。

<https://www.meiji.ac.jp/library/index.html>

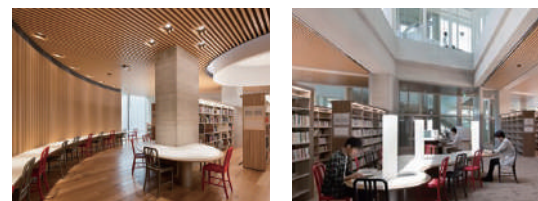


中央図書館（駿河台キャンパス）



学系の蔵書が特に充実しています。大きな窓を通して地下3階でも明るい光が差し込み、吹き抜けは美しい空間となっています。静かで落ち着いた雰囲気の館内には、ギャラリー、グループ閲覧室、共同閲覧室などを備え、学部3・4年生、大学院生の学修・研究に必要な文献の探し方や論文の書き方、就職活動に役立つ図書館資料の紹介などの各種ガイダンスも開催しています。

和泉図書館（和泉キャンパス）



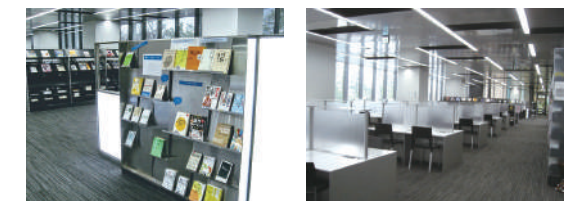
2012年5月に開館した和泉キャンパスの「入ってみたいくなる図書館」は、地上4階建て7層構造、蔵書収容冊数60万冊、座席数1,200席の長時間の学修に最適な空間です。利用者のための多様な空間や閲覧席が設けられ、長時間滞在型の個性豊かなスペースが溢れています。レポートの書き方の個別相談、図書館利用ガイダンスなど、多岐にわたる学修支援や教育支援が行われています。館内には、ホール、ギャラリー、サロンなどの施設も備えています。

生田図書館（生田キャンパス）



生田キャンパスで学ぶ理工学部・農学部の学生、大学院生や教職員に対応するため、理工・農学系の蔵書を中心に、学際的に他分野の蔵書にも力を入れ、終日滞在型の図書館として成り立っています。また、電子ジャーナル等の導入により、さまざまな雑誌本文へのアクセスが可能になっています。Web of Science、SciFinder Web など専門的・検索性に優れた文献データベースを導入しています。館内のギャラリーでは、キャンパス内の研究成果発表など、多彩な企画展を定期的開催しています。

中野図書館（中野キャンパス）



国際日本学部、総合数理学部、国際日本学研究所、先端数理科学研究科などを対象とした資料の充実を図っています。専攻向けの電子ジャーナル、電子ブックも追加しており、各種データベースを含めた電子資料への接続環境は他キャンパスと同様で、各種講習にも活用しています。館内はメタリック・グレーを基調とした美しいデザインで、蔵書も一段と映えて存在感があり、静かで落ち着いた学習できる場所として人気があります。他館とも十分連携しながら、中野図書館はキャンパスの教育・研究を支援しています。

2022卒 就職支援

就職キャリア支援事務長 小林 宣子



8月6日リクルートワークス研究所が発表した2021年3月卒業予定の大学生・大学院生(以下、21卒学生)対象の求人倍率(求人倍率=求人総数/民間企業就職希望者数)は、1.53倍(6月調査)と、前年の1.83倍より0.3ポイント低下しました。航空業界や旅行業界の企業が2021卒学生の採用を取りやめるといった例にみられるように、新型コロナウイルス感染拡大の影響が見受けられます。2022年3月卒業予定者(以下、22卒学生)についても、企業側の求人数の減少が予測されています。また、企業の採用活動は早期化が進み、3年生から4年生になる春休みには本格化すると思われます。

このような状況を踏まえ、就職キャリア支援センターでは秋学期授業開始とともに、2022卒学生(学部3年生及び修士1年生)向けに、「就職支援行事」(オンライン)を本格的に開始します。

9月25日から「進路・就職ガイダンスⅢ」として、秋・冬に向けての就職活動の動きと具体的な準備についての動画配信を始めます。10月5日には、「データから読み解く22年卒就活予測セミナー」と題し、就職情報サイト会社、企業人事担当者及び就職キャリア支援センター職員それぞれの視点でパネルディスカッションを予定しています。まず、学生の皆さんに秋以降の企業及び学生側の動きについて把握してもらうことが狙いです。

そして10月中旬から12月にかけて、「自己分析」「業界・企業理解」「選考対策」といった枠組みで支援行事を開催します。

自己分析 将来の仕事を考える上で、まず己を知らなければどのような職業選択をすればいいか決められません。そして、企業に対しても「エントリーシート」や「面接」で自分をアピールするためにこの作業は必須です。

業界・企業理解 多種多様な業界の企業人事担当者にご協力いただく「業界研究セミナー」「仕事研究セミナー」や本学OB・OGによる「OBOG懇談会」を連日開催していきます。これにより、学生が社会人から直接生の声を聞きながら、志望先や、会社理解を深める機会を提供していきます。

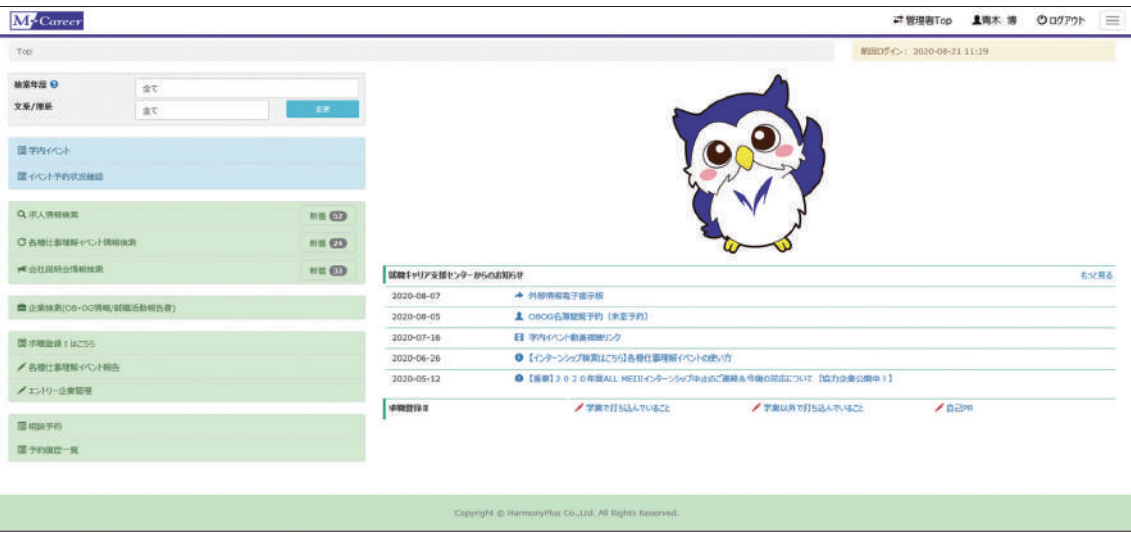
選考対策 「筆記試験対策講座」「エントリーシート対策講座」「面接対策講座」を受けることで、早めの準備を促します。また、模擬面接会で実際さながらの面接を経験することが出来ます。

就職キャリア支援センターとしては、このような支援行事をととして、12月までには学生自身の企業選択ができるようにスケジュールを組んでいますので、是非参加するよう保護者の皆様からもお薦めください。

なお、これらの支援行事の周知と就職に関する個人相談予約については、すべて「就職キャリア支援システム(M-Career)」から行うことが可能です。

ご父母の皆様も就職を意識したこの段階でお子さまと将来のことについて話し合ってみてください。

明大生の就活 支援・相談・資料のすべてがM-Career

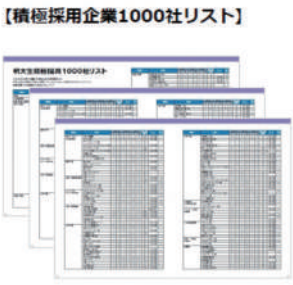


明治大学生のための就職情報誌2022「明治大学積極採用1,000社リスト」

明治大学より、9月下旬に学部3年、修士1年全員(約8,100人)の学生宛に郵送する大学公式の情報誌です。



昨年度表紙



【積極採用企業1000社リスト】



【企業で活躍する明治大学の先輩インタビュー】

■企画概要

発行部数 9,000部
発行時期 2020年9月
配本方法 学部3年生、修士1年生の自宅へ郵送
HP内にデジタルブックとして設置
判 型 B5判

直近3年で、3名以上採用実績がある企業
約1,000社のリストと、50名の明治大学
OB・OG 特集を掲載。

われらに燃ゆる希望あり！ ～連合父母会は校歌プロジェクトを支援します～

連合父母会顧問 今村 健
(2018年度 連合父母会長)



「校歌を3番まで歌えない子は泊めてあげないんです(笑)」。ある父母会役員のお母さんの言葉です。このご家庭では、深夜ご子息がお友達を連れてくると玄関前で必死に校歌を覚え、明治大学校歌を一生懸命歌う光景が幾度となく繰り広げられたとか。

確かに全国各地の父母会では、懇親会の最後には必ずと言って良いほど、肩を組んでの校歌斉唱が恒例行事となり、子ども達は歌えなくとも役員父母はそらで歌いあげます。一般の父母を交えて見知らぬ親同士もいつしか仲良くなり、更なる懇親を深まる瞬間です。

このような仲の良さが、明治大学の父母会は全国一熱心だと言われる所以だと思いますが、何故熱狂的なまでに明治大学が好きなのでしょうか。よく「明治大学は独特ですよ」と初めて明治に触れる父母から言われることがあります。恐らく、その「独特」さが大好きな要因であることは間違いありません。

では、その独特さとは何でしょうか。

それは恐らく、明治大学独自の「権利自由」「独立自治」の自由な校風がプラットフォームとして存在し、更に「前へ」の精神で学生の挑戦する姿を目のあたりにするからではないでしょうか。

私は今でも目に焼き付いているシーンがあります。2017年の東京六大学野球開幕戦、エール交換に登壇したのは、東京六大学史上初の女性応援団長、新宅杏子さんでした。エールが始まる前の一瞬、神宮球場が静粛に包まれました。うまくできると心配しましたが、その心配は全く無用で、

透き通った声が応援席の最上段の席まで届く素晴らしいエールでした。彼女からその場にいた父母会の仲間達は心を動かされ、感動を貰いました。

新宅団長のように、自分に挑戦して人の心を動かしたり、世の中を切り拓いたりする人生を歩むことは親にとってこれ以上ないくらい幸せそのものです。高校までの正解のある学びとは違う大学ならではの机上では出来ない学びをして欲しいと願うばかりです。

以前、広報明治に、作家になられたOGの方が寄稿をされていました。その方は、社会に出ると辛いことも多々ある。しかし、辛いときこそ青春時代を過ごした駿河台キャンパスを歩き回り、心の中で校歌を歌えば、いつしか当時の仲間を思い出し、彼らが応援してくれているような気がして元気が出る、辛いことも大したことないように思える、校歌は偉大なる無形の資産だと主張されていました。まさにその通りだと思います。ところが、校歌を歌える明大生は少ないと耳にします。偉大なる無形資産を得ずに卒業してしまっただけは、辛くしんどいときの拠り所がなくなってしまいます。

そんなことを感じていた矢先に、Mナビ主催で新入生歓迎プログラムがあり、応援団が初めて校歌指導をするから見に行かないかと誘われました。その時に会ったのが取材に来ていた明大スポーツの学生さん達でした。彼らとは自然と校歌の話になり、同じ問題意識を持っていることから、現役の学生さんにも同じような考えの方がおられることが分かり大いに共感しました。

明大スポーツでもワセコン(早稲田コンプレッ

クスの略)を抱いて明治に来る学生もいるそうです。しかし、神宮や秩父宮で声高らかに応援し、校歌を歌ううちに明大生としてのアイデンティティを体感し、自信が持てるようになるそうです。その後、彼らは校歌をテーマに学生の間でムーブメントを起こしたいと言い始めました。そして、自分たちがやりたいことを当時の土屋学長や向殿校友会長にプレゼンテーションし、思いの丈をぶつけていきます。しかし、当時は公認の活動としては認められませんでした。

明治大学校歌は学生達の熱意により、ちょうど100年前の1920年10月28日に誕生しました。制定までの道のりは決して平坦なものではなく、学生達が校歌の制定を大学側に要望した際には、学生は勉強にいそしむべしと却下をされています。まさに同じ事が100年後も起こった訳です。親にしてみれば明治大学の校歌に書かれているようなアイデンティティや挑戦する気持ちを資産として持って欲しいとの願いがあればこそ、学生の熱意を汲んだ連合父母会が支援をし、勝手連的に校歌プロジェクトが誕生しました。

挑戦の連続、校歌プロジェクト

校歌プロジェクトでは2020年に校歌誕生100年の節目を迎える10月28日を「校歌の日」と制定することをターゲットとして、ムーブメントを起こすために100ものアクション事項を考え、その中でもインパクトの大きな試みにチャレンジしています。主立ったものをいくつか紹介します。

1 プロモーションビデオ

具体的には、体育会の活動を校歌に乗せて紹介するプロモーションビデオを制作しました。これは体育会各部を校歌に乗せて紹介するものですが、プロジェクトの面々は多くの体育会と連携・制作しYouTubeにアップされています。

また、プロモーションビデオをつくる過程で音楽サークルにもアプローチをしています。マンドリン倶楽部、ビッグサウンズオーケストラなど8団体と連携し、チャイムを校歌でつくろうという話にもなり、大変な広がりを見せています。

特に、今まで音楽系サークル同士のコラボレーションはなかったようですが、組織の壁を越えサークルとサークルをつなぐ新たな試みをしており、その成果も間もなくご紹介できると思います。

2 ムーブメントの波を大きくする

芸能人とのコラボレーション。明治大学卒業の芸能人は沢山います。校歌プロジェクトに共感してくれる有名人を捜し当て、メッセージを貰い、お揃いの校歌Tシャツを着て動画メッセージを集めるなど学内だけではなく、社会にも訴求できるコンテンツを揃えようとしています。

3 デジタルの活用

デジタルネイティブである彼らはSNS(Twitter、Instagram、Line、YouTube)を駆使して情報発信をし、共感を連鎖させようとしています。

なかでもWebサイトでは、校歌プロジェクトを応援してくれる人達に「いいね」的な「応援しているよ」ボタンを作り、応援して下さる人数を可視化しています。皆さま是非応援ボタンのタップをお願いします。

これら以外にも、10月28日校歌の日イベントや秋の神宮大会、大六野学長へのプレゼンテーションなど幅の広い、それこそムーブメントと呼べるようになるための取り組みをしています。

撞くや時代の暁の鐘

コロナ禍が鮮明にしたのは、対面・書面を求めデジタル化を後回しにした結果、非効率で生産性の低い社会の姿でした。骨太の方針でも「我が国は新たな時代を見据え未来を先取りする社会変革に取り組まなければならない」「新たな日常を通じた質の高い経済社会を実現する」と謳っています。

プロジェクトを推進する学生達は全てが初めてのことで、始めは戸惑ってばかりでした。そこで彼らにちょっとした経験談やアドバイスをすると、それをヒントとして自分たちの頭で考え行動に移していきます。こうして未知の世界と既知の世界のギャップを埋めていきます。更に、知っていることと出来ることの間にもギャップがありますが、このギャップも経験から学びながら乗り越え、実践知として身につけていきます。見ていて、その成長ぶりは驚くばかりです。

困難で辛いキャンパスライフを送る今の学生達ではありますが、逆境をバネに「我らに燃ゆる希望あり」と未来を切り拓こうとする明大生に、私たちはここからのエールを送ろうではありませんか。

明治大学校歌 誕生物語（2）

校歌が制定されたのは1920年(大正9)10月ですが、この年は明治大学140年の歴史の中でも特別な意味をもっています。

前身である明治法律学校が1881年(明治14)に、まだ30歳前の若き三人の法律家、岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操によって創立されたことは、みなさんよくご存じのことと思います。現在の千代田区有楽町一・二丁目、数寄屋橋交差点付近にあった旧島原藩上屋敷の一隅で呱呱の声を上げました。今その地にリバティタワーを模した「明治大学発祥の碑」が建てられています。是非足を延ばし、ふるき歴史をかみしめてください。

開校当初の生徒数はわずか44名でしたが、学校の評判は高く、生徒が急増して校舎が手狭になり、5年後の1886年(明治19)に駿河台南甲賀町(現在の日本大学病院敷地北東辺)に移り、さらに、1911年(明治44)に現在の神田駿河台1丁目1番地に新校舎を建築しました。文字通り、＜白雲なびく駿河台＞に＜眉秀でたる若人＞が集うところとなったのです。



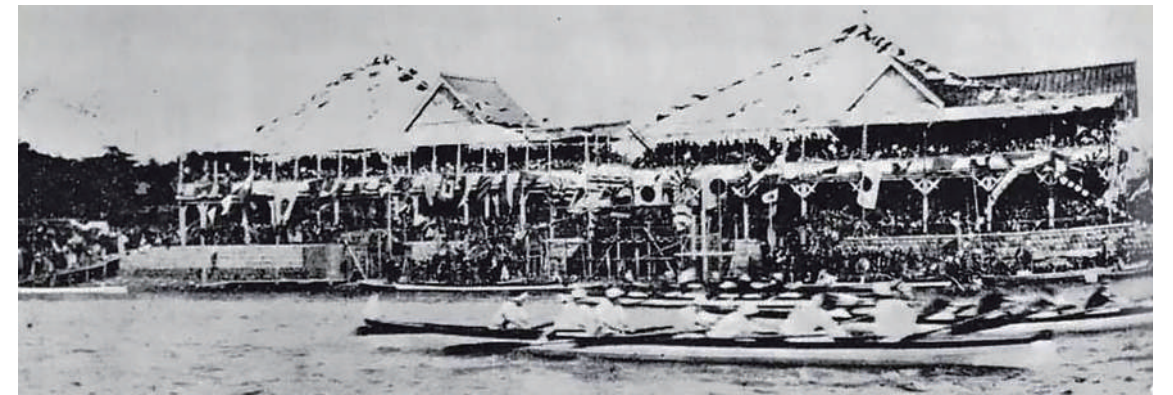
1911年 新築移転後の明治大学新校舎
(明治大学創立100周年記念事業委員会歴史編集委員会編『図録・明治大学百年』明治大学、1980より部分)

南甲賀町時代の1903年(明治36)に明治法律学校から明治大学に改称します。しかし、法的に大学と認められるのは帝国大学のみで、大学とは名乗っても、位置づけは専門学校でした。それが、「大学令」により、名目共に大学と認定されたのが、1920年4月なのです。

その頃には、法・商2学部と予科、大学院を合わせて在学学生は6千人を超えるまでに膨らんでいました。しかも、予科生徒の多くは官立大学進学のための受験生で、財政上の理由から過剰に受け入れていました。前回紹介した商科学生越智七五三吉は、校内は学校か公園か教室か駅の待合室かの見境のつかないほど雑然とした状況で、学生たちは鬱積を募らせ、「大学本来の教育に無気力なるが如きは断乎排撃する」との激しい怒りの声が、澎湃として沸き上がったと回想しています。

大学令による大学昇格は、あるべき大学の姿を実現させ、社会的にも高等教育機関としてのステータスを得る大きなチャンスでした。1918年(大正7)に大学令が公布されると、学生たちは在学学生の半数に当たる3千人が出席して学生大会を開き、当局に大学昇格推進を強く迫る決議をします。昇格には施設設備の充実や財政基盤の確立など高いハードルがありましたが、全国校友会も寄付募集を呼び掛けるなど、全学的な協力体制ができあがります。そのかいあって、慶應義塾、早稲田(共に同年2月)に次ぎ、法政、中央などと共に晴れて3番目の私立大学となりました。

前回紹介したようにNHK連続テレビ小説『エール』では、東京六大学野球リーグ戦で早稲田大学



1910年 隅田川における第4回競漕大会 (『図録・明治大学百年』より部分)

が慶應義塾に連戦連敗したことで、応援団が新しい応援歌作成に奔走する姿が描かれますが、明治大学校歌が制定された頃に人気のあった学生スポーツは、隅田川で行われる大学対抗のボート競技でした。明治大学体育会端艇部は1906年(明治39)の創部で、本学で最も古いスポーツクラブです。それが、校歌制定前年の大会では芳しい成績が残せませんでした。先ほどの越智は、「この惨敗は一選手の責ではない。大学自体の無統制無気力に依るものだ、根っこそぎ改革しなくちゃ」と、学生たちは悲憤慷慨しながら隅田川から応援旗を担いでの帰ったと記しています。

こうした流れの中で、愛校心と強い求心力を持って大学を盛り上げる校歌を、学生自らの手で作ろうという気運が高まります。1920年春の予科学生大会で校歌制定の決議がされ、商科の武田孟と政治科の2名が実行委員に選出されます。武田は同じクラスの牛尾哲造と越智七五三吉に協力を要請し、10月に行われる、東京帝国大学、東京商科大学(現・一橋大学)、早稲田大学などとの第1回漕艇協会レガッタに間に合わせようと猛烈な勢いで走り出します。

ところで、それまで本学に校歌がなかったわけではありません。1907年(明治40)に第1回の校歌懸賞募集がされますが受賞作はなく、1911年(明治44)の創立30周年式典では、卒業生の田能



卒業を目の前にした武田孟(左)と牛尾哲造(右)
(『大正拾二年度卒業記念』明治大学商学部、1923より)

村梅士(後に読売新聞記者)と藤沢衛彦(後に文学部教授)が作ったとされる「とよさか昇る」が歌われました。しかし、学生たちの心を打つものではなかったようで、定着せず、その後も再募集されますが、実現しませんでした。

時はあたかも、混迷する社会を打ち破り、民主主義と自由主義を求める大正デモクラシーの高揚期。＜高き理想＞を掲げて＜正義の鐘＞を打ち鳴らし、愛する大学を改革再建しようとする学生たちの純粋で燃えるような精神の延長線上に、校歌制定はあったのです。



飯澤 文夫 (いいざわ・ふみお)
明治大学大学史資料センター研究調査員
明治大学元学術社会連携部長

応援しています

校歌誕生100年プロジェクト



明治大学校歌

児玉花外 作詞
山田耕筰 作曲

Tempo di marcia ben marcato (♩=112)



霊峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

権利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗幟し
高き理想の道を行く
我等が健児の意気をば知るや
我等が健児の意気をば知るや

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校



学生たちが取り組むプロジェクト

みんなで響かせよう おお明治！
Webサイトが開設されました！

校歌誕生の歴史をはじめ、明治大学関係者へのインタビュー、サークルや体育会の動画など、校歌を通じた様々なコンテンツが公開されています。

明治大学 校歌誕生100年記念プロジェクトWebサイト
<https://www.meiji-koka100year-pjct.jp/>

